



は じ め に



早いもので新年度になり、2カ月が経ちました。皆様のご支援のおかげで、しらかば子どもの家、しらかばベビーホームは無事に13年目を迎えることが出来ました。誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの5類移行に伴い、コロナ禍以前の生活に徐々に戻りつつあります。子供たちもマスク生活から解放され、元気な笑顔を見せてくれます。今年度は施設の内外での行事が例年通りに行われて、子どもたちに様々な経験をさせてあげられたらいいと考えています。

また、最近は、卒園した者からの相談も多くなっていますので、在園児だけでなく、卒園者への支援をより充実していきたいと思ひます。

子どもの家 卒園・入学お祝い会

昨年度の卒園生は2名でした。卒園生男子は就職、女子は専門学校に進学しました。2人共、一人暮らしをしています。新しい環境にも慣れて、元気に頑張っているそうです。応援してあげて下さい。これから楽しい事より困難な事が多いと思いますが、負けずに一歩ずつ成長して行ってくれる事を願っています。職員一同で応援しています。がんばれ!!

新入学生は小学生4名、中学生4名、高校生2名でした。新小学生は4月の初めの頃は、ランドセルが重く登下校が大変そうでした。今では慣れたようで、みんな元気に学校に通っています。これからの成長と活躍をみんなで支えていきます。引き続き、皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

益子後援会長から、温かいお祝いの言葉をいただきました。そして、卒園生には卒園支援金と記念品、入学の子ども達にはお祝い品をいただきました。



小学校で使ったお祝い品
新1年生の記念品贈呈。



在園児よりお祝いの言葉



卒園生の2人がスーツを着て、少し緊張気味ですがしっかり挨拶をしてくれました。



久里浜小学校入学式では笑顔で写真を撮りました。



ベビーホームでも、今年度は四名のお子さんが入園、進級、入学となりました。入園、進級の準備をしたり、話をしたりしながら、子ども達の気持ちも新生活に向けて、だんだんと高まっている様子です。「楽しいかな〜?!」「幼稚園、滑り台とかあるって〜」など想像を膨らませながら、ワクワク、ドキドキの気持ちでいっぱいようです。



たより「あしたば」

第19号発行
しらかば子どもの家
しらかばベビーホーム

しらかば子どもの家
しらかばベビーホーム
後援会

し	0	横	〒
ら	4	須	2
か	6	賀	3
ば	8	市	9
ベ	7	長	0
ビ	4	瀬	8
ー	3		2
ホ	5		6
ム	9		
	0		
	0		
	1		

しらかば日記

東急ベイホテル クリスマスパティー

昨年の12月にみなとみらいにある
東急ベイホテルのクリスマスパーティーに招待
して頂きました。

中学生以上の子どもが参加し、慣れないフランス料理のマナーに苦戦しながらもおいしい料理を食べたり、フロ
の方の歌を聴いたりとても楽しい時間を過ごせました。



パーティーの前には格闘家で元K-1
チャンピオンのピーター・アーツ氏と
記念撮影をしました👏👏
ピーター・アーツ大きい!!



料理が出てくるまで、ナイフや
フォークを前に緊張しています。



テーブルマナーに四苦八苦。
どれを使うのかな? 🤔🤔

電車が見える公園



2020年の冬になくなった「みんなの公園」に代わって、JR久里浜駅のお隣りに
「電車が見える公園」が出来たのをご存じですか? ?

「なんか楽しそうな公園があるって!」とみんなで車に乗り込んで早速遊びに行っ
てきました! 出発前は寒くて乗り気ではなかったお友だちも、公園についてすぐ
に電車が通ると、大歓声をあげて電車に釘付け♡はじめて遊ぶ遊具もたくさん
あって、寒さも忘れてみんなで元気に遊んでできました!! また遊びに行こうね!



優里さん来園

3月に歌手の優里さんが来園されました。全国の児童養護施設にギターを100本寄付するという活動を
されています。ギターを通じて、子どもたちの夢の一つにミュージシャンという選択肢が生まれてくれ
たらという思いで活動を始められたそうです。当日は食堂でミニコンサートを行い、ドライフラワー、
ペテルギウス、そして当日誕生日の子どもの為にハッピーバースデーを歌って下さいました。今回の
来園の様子は優里さんのyoutubeチャンネルに動画がアップロードされています。是非ご覧ください。こ
の日以降、優里さんがテレビに出ると子どもたちは大変盛り上がっています。
子どもたちにとって忘れられない素晴らしい1日になりました。





し ら か ば 日 記



新田真剣佑さん来園

昨年(2023)の11月に俳優の新田真剣佑さんが来園されました。

真剣佑さんは英会話スクールのアンバサダーをされており、児童養護施設の子どもたちにも英会話を広げたいと考えて、訪問活動を行われているそうです。

この機会をきっかけに英語を勉強する子どもが増えたら嬉しいですね。真剣佑さんからは子どもたちへ温かいメッセージを頂き、子どもからも真剣佑さんへの手紙を読みました。参加した男子も女子も「真剣佑カッコいい。イケメン。」などと話しており、大変盛り上がりしました。



やきいも食べたよ

ベビーホームで毎月行われている日中活動で、2月は焼き芋を作って食べました！

「焼き芋の準備するよー」と声をかけられるとテーブルまで走って行き、みんな真剣なお顔で下準備のやり方を聞いています。

新聞を濡らして上手に広げて、アルミホイルに包んで…。自分のお芋は自分で準備する事ができました。焼くのももちろん自分たちで！！

大人の人と一緒にお芋を転がして待ちます。美味しそうな匂いがして来るとみんなの鼻もピクピク。「もう食べられる？」と待ち遠しそうにしていました。みんなで作った焼き芋、とってもとっても美味しかったね！！



駄菓子屋さん&トランポリン



先日、ベビーホームの駐車場に駄菓子屋さんが来てくれるイベントと、大きなトランポリンが登場するイベントがそれぞれありました。駄菓子屋さんでは、子ども達は悩みながら自分で食べたいお菓子を選び、お金を払って買い物を楽しみました。その日は夜まで何度も「今日はお菓子買いに行ったね！」と嬉しそうに話していて、子どもたちにとって、とても楽しく、そして貴重な経験になったのだと感じました。

大きなトランポリンには、はじめはその大きさにびっくりしたり、尻込みする子もいましたが、大人と一緒に跳んでみたり、楽しそうに遊んでいる友達の姿を見て、次第にみんなが参加して遊ぶことが出来ました。弾みでどんどん中心に集まってしまう、ぶつかりそうになることもありました。戻ってきてからもテラスで小さいトランポリンを出して遊びたがる子もいて、本当に楽しい時間になったようでした。

子どもの家の日常風景

男子寮はポケモンカードが流行っています



仲良く下校😊

夢中でテレビ。何を観てるのかな？



施設の入所状況 (2023年6月1日現在)

子どもの家

	男	女	合計
高等学校	2	5	7
中学校	5	5	10
小学校	8	6	14
幼稚園	2	1	3
合計	17	17	34

ベビーホーム

	男	女	合計
6歳	1	0	1
4歳	0	2	2
3歳	2	0	2
2歳	1	2	3
1歳	0	1	1
0歳	1	4	5
合計	5	9	14

内一時保護4名（男児1名、女児3名）



4年前に卒園し県立保健福祉大学に進学した、M. Iさんが今年の春に卒業し、観光関係の企業に就職しました。アルバイトのほか後援会の奨学金、各種団体の支援を受けながらよく頑張りました。これからのなお一層の活躍を期待しています。

おめでとうございます！！

しらかば子どもの家・しらかばベビーホーム後援会

日ごろは当後援会に対し、深いご理解とご協力を賜りまして心から御礼申し上げます。

令和5年5月20日（土）に横須賀商工会議所3階研修室において、4年ぶりの第12回総会が開催され、全ての議案が承認されました。会議後には横須賀市児童相談所の深井副所長さんの講話を拝聴しました。誠にありがとうございます。今回で益子会長が退任され、新たに小澤新会長が就任されました。益子会長ほか退任された役員の方々には今まで大変お世話になり、ありがとうございました。

後援会の活動としては、卒園した大学生、専門学校生に奨学金の支援、そのほか、運転免許証などの資格取得支援や学習支援として高校生の通塾費用、年度末には卒園生や入学、進学した子に卒園・入学お祝い会で卒園支援金や記念品贈呈などの支援を行います。

残念ながら、昨年子どもたちと会員のふれあいの場である「あしたば祭」は中止になりました。ようやくコロナも収まってきていますので、まだ油断はできませんが、今年こそは開催できて、子どもたちとふれあえることを期待しています。

※小澤新会長挨拶※

尊敬する会員 会員企業の皆様へ、

私、小澤長幸はこの度、社会福祉法人誠心会しらかば子どもの家・しらかばベビーホームの後援会長として新たに就任いたしました。

このしらかば子どもの家 ベビーホームには、大切な未来ある子ども達を預かっています。彼らは愛情と支援が不可欠な状況に置かれています。私はこの重要な役職に就き、彼らの未来に寄り添い、力になることを誓います。

私がこの後援会の一員として果たすべき使命は、彼らが健やかに成長し、可能性を最大限に引き出せるよう、環境整備や教育支援の向上に全力を尽くします。また、彼らの感情的なケアや心理的なニーズにも十分な配慮をし、温かい家族のような環境を提供することが重要だと考えています。

さらに、地域社会との連携を強化し、児童養護施設を取り巻く環境を改善するために努力します。地域の皆様や関係機関と協力し、施設の運営や児童の社会復帰のサポートに取り組みます。彼らが健やかな人間関係を築き、自信を持って社会で生きていけるようになることを目指しています。

皆様の温かいご支援と協力があってこそ、私たちは児童養護施設での活動を成功させることができます。一緒に未来への希望を育み、彼らに愛と尊厳をもって接する社会を築いていきましょう。

最後になりますが、私はこの新たな役職に就任することに深い感謝の気持ちを抱いています。

2022年度後援会費入金状況（年度末）

	会員数	入金口数	金額
法人	60社	105.0	1,050,000
個人	88人	400.5	801,000
	合計		1,851,000

施設も卒園者が増えるに伴って卒園者への支援が重要になっています。後援会としても卒園者への支援を充実する取り組みを応援してまいります。これからも、子どもたちの明るい未来のために活動ができればと思いますので、引き続き皆様の暖かいご支援をお願いいたします。

2022年12月1日～2023年3月31日までに会費(寄付金)をいただいた皆様（順不同）

㈲高橋建材様、星宏輝様、塚田ひろ子様、川口泰弘様、田村慶子様、中川潤一様、須山亜耶様

今年度から広報を担当させて頂くことになった堀本です。男子寮で7年勤務し、今年の4月から職業指導員になりました。しらかば子どもの家で勤務を始めて8年目になります。たより「あしたば」を通して少しでも子どもたちの元気な姿や頑張っている姿を皆様にお知らせしたいと思っています。慣れない仕事ではありますが、一生懸命頑張りますので今年1年間宜しくお願いします。

子どもたちの生活も少しずつ前の生活状況に戻って来ました。引き続き職員一同、子どもたちと一緒に楽しく過ごせたらと思っています。